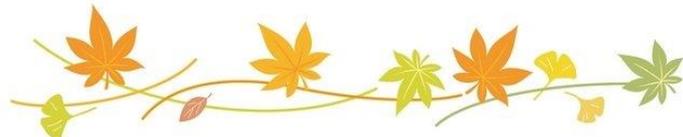


進路ニュース **みらい** 令和2年第2号



広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行
(扱い 進路指導部 広報係)

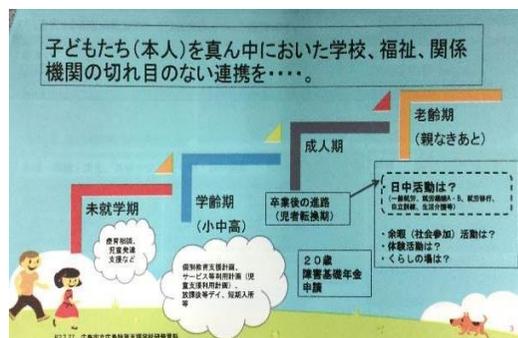
秋の音が聞こえる美しい季節が到来しました。

今学期も新型コロナウイルス感染予防対策を十分に行いながら、生徒たちはしっかりと進路学習に取り組んでいます。今年度は生活支援相談会を中止としましたので、相談の機会を逃し御不安に思われていることなどございましたら、遠慮なく進路担当教員または担任までお知らせください。

高等部の教職員対象進路研修会

7月27日(月)に、高等部の教職員対象進路研修会を実施しました。社会福祉法人 広島市手をつなぐ育成会 育成会相談支援センター 相談支援専門員の松井小百合様から「障害基礎年金及び障害支援区分の概要について」をテーマに講話がありました。

18歳以降の福祉サービスや制度の仕組みや申請の方法など、多くの資料を用いてわかりやすく説明をしていただきました。進路研修会のアンケートでは、「障害基礎年金や障害支援区分について詳細に知ることにより、個人懇談でも話ができます。」「生徒の将来に必要な情報を得ることができました。」などの意見がありました。今後も、生徒の卒業後の生活を見通した進路指導が行えるよう、研修を定期的に行っていきたいと思っております。



進路学習・保護者研修等の取組紹介

中学部第3学年

～障害福祉サービス事業所「森の工房やの」への職場見学～

中学部第3学年は、9月18日(金)と9月25日(金)に、2グループに分かれてバスで、職場見学に行ってきました。今回は、十分な新型コロナウイルス感染症対策を行い、学校としては「バスの乗車率を50%より少なくして密にならないように座席に座る。」「マスクを着用する。」「手指の消毒を行う。」「密にならないように、グループで分かれて行動する。」、障害福祉サービス事業所からは「食堂等で密にならないように座席に座る。」「定期的に換気を行う。」「雨天でない場合は、できるだけ室内を通らないで庭側を移動する。」



など多くの配慮の中、実施することができました。

事前学習では、スライド画像を利用して見学のイメージを持ったり、作業所で体験する緩衝材作りの練習をしたりしました。

職場見学当日は、作業の様子について「森の工房やの」の理事長から詳しく説明してもらいました。代表の生徒が空き缶をつぶす機械のスイッチを押し、缶がつぶれる様子も見学することができました。御家庭で協力いただいたアルミ缶や新聞紙を持参し、緩衝材作りや空き缶つぶしで有効に活用することができました。カフェでは、他のお客様が飲食で利用していましたが、店の外で待つ人、お店の中で買物をする人に分かれて、順序よくマナーを守りながら、300円の範囲内で自主製品を購入しました。パン、クッキー、ラスク、巾着、髪留め、マグネット、エコバッグ、手作りマスク、ブルーベリージュレ、ミニ草履、紙すきはがき、絵雑巾などたくさんの製品がありました。

初めての作業所見学で、卒業生たちが働いている様子を見たり、貴重な体験・見学をしたりして、進路への関心を高めることができたと思います。



すごい！こんなにペチャンコだ。



何を買おうかな？
たくさんあって、
選べないぞ。



高等部第1学年

高等部第1学年の進路学習は、新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度、予定していた職場見学の実施を見送らざるを得ない状況になってきています。実際に施設・施設作業所に見学に行くことは難しくなりましたが、施設作業所の写真を見たり、実際に作業を体験したりする学習を予定しています。3学期に予定されている校内実習への取組を前に「働くこと」について具体的なイメージをもち、卒業後の進路について考える機会になればと思っています。

9月1日より、高等部第1・2学年の保護者を対象とした職場見学がスタートしました。実際に施設作業所に足を運び、作業している様子を見て、話を聞いてみたいという思いから、たくさんの保護者が参加してくださっています。卒業した生徒が生き生きと仕事をしている様子を見たり、直接、担当者から現状や今後の展望について聞いたりなど、現地に行かないとわからないことがたくさんあり、参加された保護者から大変好評でした。「個々の仕事がきちんと分けられていて、利用者の方々が慣れた手つきで作業をこなされている印象でした。」「質問に丁寧に答えていただき、作業内容や送迎など不安に思っていたことがなくなりました。」などの感想を寄せられました。



高等部第2学年



2学期になり、施設・作業所・デイサービスでの職場体験実習が本格的に進んでいます。企業・A型の事業所の実習も2回目が2学期後半から始まる予定です。

初めての实習に不安や期待があると思いますが、その気持ちに寄り添いながら、事前の取組も含めて生徒の皆さんが力を発揮できるよう、教員一同しっかりと支援していきたくと思っています。保護者の皆様には、職場体験実習で見学されたお子様の様子から感じられたことや進路に関する思いなど、反省会や事後アンケートなどでお知らせいただけたらと思います。

家庭と学校が連携しながらより良い進路決定ができるよう、御協力をお願いいたします。

～職場見学～

重複類型では、新型コロナウイルス感染症対策のため職場見学に代えて、施設作業所での活動の様子の動画を使って学習を行いました。

知っている先輩方が生き生きと活動している様子や施設の様子に興味をもち、真剣に動画を見聞きすることができました。作業所で行う軽作業などの体験も行い、これからの職場体験実習や将来の生活に対して感じる機会となりました。

I類型では、11月20日(金)に、いしうちの森に職場見学に行く予定です。貝の殻通し、ベーカリー、農業の3種類の作業を見学し、卒業後の進路や将来の生活を具体的にイメージする機会となればと考えています。

～進路に関する学習～

II類型では、「職場での言葉づかい」「人と話をするときの態度」「出勤の仕方」など将来の生活をイメージしながら、ロールプレイングなどを行い、職場体験実習や社会に出たときに役立つよう学習しています。

III類型では、1学期に行った職場体験実習の職場体験実習報告会を行いました。友達がどこでどんな仕事をしたのか、みんな真剣に見聞きしていました。合間には、生徒同士で仕事のやり方や大変だったこと、褒められたことなど情報交換を行い、次の実習や将来の進路について考える機会となりました。

～高等部第1、2学年保護者対象職場見学～

9月から、保護者対象職場見学を実施しています。たくさんの御参加ありがとうございます。是非この見学を通して、卒業後の生活を考える上での参考になさってください。

高等部第3学年



高等部第3学年は、1学期に引き続き、卒業後の進路決定に向けて職場実習に励んでいます。2学期は余暇体験活動等を通して、卒業後の生活に必要な力を身に付ける学習にも取り組んでいます。

～求職登録～

8月21・24・31日の3日間、企業就労を希望する生徒を対象にハローワーク広島、ハローワーク広島東で求職登録を実施しました。ハローワークや障害者就業・生活支援センターの方との面談では、緊張しながらも一生懸命質問に答える生徒の姿が印象的でした。

～アセスメント実習～

就労継続支援B型利用に係るアセスメント実習にも取り組んでいます。アセスメント実習とは、特別支援学校の生徒が卒業後すぐに就労継続支援B型事業所の利用を希望する場合に、在学中に広島市内の就労移行支援事業所において3日間のアセスメント実習を実施し、利用の適性について判断するものです。本校では、例年、高等部第2学年の2月～3月末、または、高等部第3学年の5月～11月の期間に実施しています。

～申請手続研修会～

10月29日(木)に広島市健康福祉局障害福祉部自立支援課の方に来ていただき、卒業後に利用する施設(障害福祉サービス事業所)の申請の手続き等についての研修会を行います。施設入所支援、生活介護事業所、自立訓練事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援B型事業所の利用を希望される方は12月1日(火)から12月14日(月)までの間に、居住区役所の保健福祉課への申請が必要です。研修会では申請時に必要な書類やその書き方、申請後のサービス等利用計画の作成についての手順を具体的に説明していただきます。

最後に…卒業まであと半年を切り、進路決定に向けて大詰め時期に入りました。卒業後の生活に期待感や不安感をもっている生徒も多いと思われそうですが、教員一同その気持ちをしっかりと受け止め、生徒に寄り添いながら充実した学校生活にしていきたくと思っています。今後とも御協力よろしくをお願いいたします。

高等部普通科職業コース



職業コースでは、各学年で以下のような進路の学習を進めていきます。

第1学年

第1学年は10月末にあるJSTとの面談に向けて、自己紹介の練習や話し方、聞き方の練習に取り組んでいます。評価表を使用し友達同士で評価し合うことで、姿勢や目線、丁寧な言葉遣いなどより意識できるようになってきています。後期後半にはよいよ「職場体験実習1」が始まります。打ち合わせや反省会では、自己紹介や話し方、聞き方など、学習したことを活かしていきたいと思っています。

第2学年

現在、第2学年は「職場実習2」「職場実習3」の最中です。職業科の授業では、「社会に出て働くにはどんな力が必要か?」を考えたり、「場面に応じた挨拶」「清潔な身だしなみ」「ミスの報告の仕方」など、具体的な場面で必要な対応について学んだりしています。それと同時に、「自分はどんな職種で働きたいのか」「どんな環境で働きたいのか」など「進路を決めるのは自分自身」という自覚を生徒それぞれがもち、一緒に考え、保護者の方と連携をとりながら前に進んでいけたらと思います。

第3学年

第3学年は新型コロナウイルスの影響で、例年の進路決定までの流れとは異なり、今の不安や卒業後の不安はどの生徒も少なからずあります。その不安を少しでも減らしたり、どの人にも進路決定や社会人になりたての頃は不安や悩みがあることを知ったりするために、インタビューをしようと考えています。写真はインタビューの内容を話し合っている様子です。「職場に苦手な人がいた時の対応」や「進路を決める時の不安に思ったこと」など、卒業後の生活をイメージしながら、インタビューの準備をしていきたいと思っています。

